

群馬県「認定地域クラブ活動指導者」研修データベースシステム開発及び運用・保守業務委託プロポーザル 質問及び回答

整理番号	質問分類	質問内容	回答案
1	仕様書	【仕様書 第1章 3(2)パッケージ(既製品)の導入について】 パッケージ(既製品)は「他都道府県で運用されている、部活動の地域展開に資するための指導者の研修システム」と定義されておりますが、当該定義に該当しないもの、他自治体や民間事業者向けの研修管理等の用途で導入実績を有するパッケージ製品をベースに、本仕様を満たすようカスタマイズして提案することは可能でしょうか。	仕様書に記載のとおり、基本的には他都道府県における「部活動の地域展開に資するための指導者の研修システム」での運用実績を有するパッケージを想定しています。 なお、当該定義に該当しないパッケージ製品でも、他自治体や民間事業者等における十分な導入・運用実績があり、本業務の目的・要件を満たすことが具体的に示される場合には、提案を妨げるものではありません。 ただし、評価にあたっては、本業務との親和性及び導入実績の内容等を踏まえて総合的に判断します。
2	仕様書	【仕様書 第2章 1 オンライン研修機能の構築について】 サーバとして「県デジタルトランスフォーメーション課の群馬県ホームページ統合基盤を利用すること」とございますが、当該基盤の技術仕様(OS、利用可能なミドルウェア・プログラミング言語・データベース、ストレージ容量、ネットワーク帯域、外部システム連携の可否、サブドメイン及びSSL証明書等の発行手続等)について、ご開示いただけますでしょうか。	群馬県ホームページ統合基盤の技術仕様に関する詳細について、参加申込者に対し、別途「ホームページ統合基盤サーバ機能及び仕様一覧」を提供します。 当該資料をご確認ください。
3	仕様書	【仕様書 第2章 1 オンライン研修機能の構築について】 本仕様書では群馬県ホームページ統合基盤の利用が指定されておりますが、本システムは動画配信、認証付きマイページ、データベース、一括メール送信等の動的機能を要するため、一般的なCMS型基盤上での実装は技術的に困難と想定されます。一方、仕様書 第3章 3(8)アにはクラウドサービスの利用を前提とした記述もございます。つきましては、(1)群馬県ホームページ統合基盤の具体的な構成(CMS型か汎用Webホスティング型か、独自アプリケーション・データベース・APIの設置可否)、(2)受注者の自社クラウド上で稼働するSaaS型サービスによる構築の可否、(3)統合基盤上にはランディングページ等の案内のみを設置し、本体システムは受注者の自社クラウド(国内データセンターに限定)で稼働させる構成(ハイブリッド構成)の可否、(4)統合基盤を利用する場合の利用料の負担区分(本委託事業費の上限額に含まれるか、発注者負担か)、についてご教示ください。	(1)「ホームページ統合基盤サーバ機能及び仕様一覧」を提供します。 (2)仕様書において群馬県ホームページ統合基盤の利用を指定していますが、システム構成や機能要件、コスト等を総合的に勘案し、当該基盤を利用する場合と比較して、受注者が保有するクラウド環境等を活用する構成の方が合理的であると認められる場合には、発注者と協議の上、当該構成を採用することを可能とします。 (3)システム全体の構成、セキュリティ及びコスト等を総合的に勘案し、当該構成が適当と認められる場合には、発注者と協議の上、採用を可能とします。 (4)ホームページ統合基盤の利用料は、県デジタルトランスフォーメーション課が負担します。
4	仕様書	【仕様書 第2章 1 オンライン研修機能の構築について】 群馬県ホームページ統合基盤上で動画ファイル(mp4形式)の配信は可能でしょうか。可能な場合、1ファイル及び全体のストレージ容量上限についてご教示ください。配信が困難な場合、外部の動画配信サービス(YouTube、Vimeo、Amazon CloudFront等)の利用は可能でしょうか。	ホームページ統合基盤は、複数サイトが同一環境で稼働しているため、以下に挙げるWebサイトは推奨外としています。動画を扱う場合には、外部の動画配信サービスを利用してください。 (1)動画配信や音声ストリーミングWebサイト (2)外部サービスと大量通信するWebサイト (3)掲示板やチャット機能を伴うWebサイト
5	仕様書	【仕様書 第2章 2 オンライン研修のメニューについて】 研修動画は「受注者が提供している既存の研修動画を使用することも可能」とございますが、各項目に該当する動画を新規制作する場合、その費用(撮影・編集・出演料等)は本委託事業費の上限額に含まれる前提でしょうか。また、講師の手配や撮影場所の確保は受注者・発注者のいずれが担う想定でしょうか。あわせて、「①総論・制度」に群馬県固有の制度(県指導者バンク、認定地域クラブ活動指導者制度の運用等)の解説を含む必要がある場合、当該動画の制作主体についてもご教示ください。	研修動画について新規制作を行う場合、その制作に係る費用(撮影、編集、出演料等)は本委託業務の範囲に含まれるものとしてご理解ください。 また、講師の手配や撮影場所の確保については、基本的には受注者において実施することを想定していますが、必要に応じて発注者と協議の上決定するものとします。 「①総論・制度」において群馬県固有の制度の解説を含む場合は、原稿、出演者及び撮影場所等については、発注者において準備することを想定しています。ただし、撮影・編集等の業務については、受注者に協力いただくことを想定しており、具体的な役割分担は、契約後に協議の上決定するものとします。
6	仕様書	【仕様書 第2章 3(1)ウ オンライン研修の受講機能について】 理解度テストの設問内容は、発注者にてご準備いただけるのでしょうか。それとも受注者が動画内容を踏まえ作成し、発注者と協議のうえ確定する想定でしょうか。受注者が作成する場合、各項目の設問数、出題形式(択一、複数選択等)及び合格基準(得点率)について、現時点でのご想定をご教示ください。	理解度テストの設問内容については、受注者が動画内容を踏まえ作成し、発注者と協議の上確定することを想定しています。 なお、設問数、出題形式(択一、複数選択等)及び合格基準等の詳細については、現時点での具体的な定めはなく、契約後に協議の上決定するものとします。
7	仕様書	【仕様書 第2章 3 求める機能要件について】 本システムの想定利用規模として、年間の受講希望者数(仮登録者数)、累計修了者数、ピーク時の同時アクセス数等の見込みをご教示ください。サイジング及び動画配信帯域の積算に必要となるため、可能な範囲でお示しただけですと幸いです。	現時点において具体的な利用規模(年間の受講希望者数、累計修了者数、同時アクセス数等)の詳細な想定値は設けていません。 なお、参考として、現在運用している指導者・サポーターバンクの登録者数は約150名であり、月当たり概ね1~10名程度の新規登録があります(登録数には月ごとに変動があります)。
8	仕様書	【仕様書 第2章 3(1)イ 仮登録者・修了者向け機能について】 登録項目に「指導を実施したい市町村(第1希望~第3希望)」「市町村バンクへの登録希望有無」とございますが、市町村バンク及び県指導者バンクと本システムとのデータ連携(API連携、CSV出力連携、自動連携・手動連携の別等)が必要となりますでしょうか。必要な場合、連携先システムの仕様や連携要件についてご教示ください。	「指導を実施したい市町村(第1希望~第3希望)」及び「市町村バンクへの登録希望有無」は、あくまで登録者に対する入力項目として設定しているものです。システム間のデータ連携は想定していません。
9	仕様書	【仕様書 第2章 3(1)ウ オンライン研修の受講機能について】 受講修了証(PDF)について、押印、知事名、ロゴ、地紋、認定番号採番ルール等を含む様式上のご指定はございますでしょうか。様式・原稿が発注者よりご支給いただける場合は、その提供時期についてもあわせてご教示ください。	受講修了証の様式(押印、記載事項、レイアウト等)については現時点で詳細な指定はなく、契約後に協議の上決定するものとします。 なお、必要に応じて発注者から様式案や原稿を提供することを想定しており、提供時期については契約後に協議の上決定します。
10	仕様書	【仕様書 第2章 4(1) システムの運用・保守について】 「原則として24時間365日利用可能な状態を維持」とございますが、目標稼働率(SLA)について具体的な数値目標(例:99.0%、99.5%等)の設定がございましたらご教示ください。あわせて、計画停止(保守作業による停止)は稼働率の対象外として差し支えないでしょうか。	目標稼働率(SLA)について現時点で具体的な数値目標は設定しておらず、システムの特性や運用方法を踏まえ、契約後に協議の上決定するものとします。 なお、「原則として24時間365日利用可能な状態を維持」としている趣旨を踏まえ、適切と考える稼働率水準について提案を求めます。 なお、計画停止は稼働率の対象外として差し支えありません。
11	仕様書	【仕様書 第3章 3(8)ア セキュリティ診断・侵入検査について】 脆弱性診断について、納品時のほか「定期的に」実施が求められておりますが、定期実施の頻度(年1回等)、実施範囲(Webアプリケーション診断、プラットフォーム診断等)について、発注者のご想定をご教示ください。また、当該診断に係る費用は本委託事業費の上限額に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	脆弱性診断の定期実施の頻度及び実施範囲については現時点で一律の定めはなく、システムの特性やリスク等を踏まえ、契約後に協議の上決定するものとします。 なお、提案にあたっては、一般的な水準(例:年1回程度の実施や、Webアプリケーション診断を中心とした対応等)を踏まえ、適切と考える内容をご提案ください。 また、当該診断に係る費用については、お見込みのとおりです。

群馬県「認定地域クラブ活動指導者」研修データベースシステム開発及び運用・保守業務委託プロポーザル 質問及び回答

整理番号	質問分類	質問内容	回答案
12	仕様書	【仕様書 第3章 2(2) 認証機能について】 管理者向けの「グローバルIPアドレスでの接続元IPアドレス制限」について、許可対象のIPアドレスは事前に発注者よりご提示いただける(運用開始後の追加・変更も発注者からご指示いただける)という理解でよろしいでしょうか。また、出張先など固定IPアドレスを保有しない環境からのアクセスは想定外として差し支えないでしょうか。	許可対象のIPアドレスについては、契約後に発注者から提示することを想定しています。 また、接続元IPアドレス制限を前提としていることから、固定IPアドレスを用いた利用を基本とし、詳細な運用方法については契約後に協議の上決定します。
13	その他	【契約期間及び業務委託の概要について】 運用・保守期間は本稼働日(令和8年11月1日)から令和9年3月31日までと比較的短期間でございますが、令和9年度以降の運用・保守についても継続が見込まれておりますでしょうか。継続される場合、調達方式(随意契約、再度のプロポーザル等)について、現時点でのご想定をご教示ください。	令和9年度以降の運用・保守業務についても継続を見込んでおります。 現時点では業務の性質を踏まえ、随意契約による実施を想定しています。
14	その他	【企画提案要領 全般について】 本業務の一部(動画制作、脆弱性診断等)を再委託することは可能でしょうか。可能な場合、再委託先の事前承認手続、再委託の範囲、再委託割合の上限等についてのご指定がございましたらご教示ください。	委託業務の全部を第三者に委託することは認めませんが、一部業務の再委託については可能とします。 再委託を行う場合は、事前に発注者の承認を得てください。 なお、再委託の範囲は業務の主要部分を除くものとし、再委託割合の上限は設けていませんが、業務の適正な履行確保の観点から、過度な再委託とならないよう留意してください。 また、再委託先の行為については、受託者が責任を負うものとします。